

2019年11月14日

各位

会社名 株式会社かんぽ生命保険
代表者名 取締役兼代表執行役社長 植平 光彦
(コード番号:7181 東証第一部)
問合せ先 広報部 (TEL.03-3477-2357)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年8月9日の2020年3月期第1四半期決算発表時に開示した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正の内容

2020年3月期連結業績予想数値(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

| | 経常収益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|-----------|---------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 7,180,000 | 190,000 | 93,000 | 165円03銭 |
| 今回発表予想(B) | 7,180,000 | 270,000 | 134,000 | 237円79銭 |
| 増減額(B-A) | — | 80,000 | 41,000 | — |
| 増減率(%) | — | 42.1 | 44.1 | — |
| (参考)前期実績 (2019年3月期) | 7,916,655 | 264,870 | 120,480 | 200円86銭 |

2. 修正の理由

当社の通期連結業績予想につきまして、2020年3月期第2四半期決算の結果を踏まえ、また、2020年3月期第3四半期以降の業務運営の影響を勘案し、業績予想を修正します。

2019年7月中旬以降、お客さまからのお問い合わせ、ご訪問依頼に最優先で対応し、郵便局・かんぽ生命支店による積極的なかんぽ商品のご提案を控えていることから、年度を通じた新契約は前期に比べて大きく減少するものと見込んでいます。

前回公表した業績予想からの主な変動要因は、以下のとおりです。

- ① 保険料収入の減少
- ② 責任準備金積立負担の減少
- ③ 資産運用収益の増加
- ④ お客さま対応に伴う費用の増加
- ⑤ 新契約の減少に伴う販売費用の減少
- ⑥ 契約者配当準備金繰入額の増加
- ⑦ 法人税等支払の増加

【経常収益】

経常収益は、「①保険料収入の減少」が見込まれるものの、それに伴う「②責任準備金積立負担の減少」が同時に見込まれること、加えて「③資産運用収益の増加」が見込まれることから、業績予想を据え置きとします。

【経常利益】

経常利益は、「④お客さま対応に伴う費用の増加」が見込まれるものの、一方で「⑤新契約の減少に伴う販売費用の減少」および「③資産運用収益の増加」がそれを上回ることを踏まえ、業績予想を上方修正します。

【親会社株主に帰属する当期純利益】

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の理由による経常利益の上方修正に、「⑥契約者配当準備金繰入額の増加」および「⑦法人税等支払の増加」の影響を加味して、業績予想を上方修正します。

なお、新契約の減少は、短期的には、保険料収入（予定新契約費）の減少を経費支出（新契約手数料）の減少が上回るため、業績にプラスの影響を及ぼしますが、中長期的には、業績にマイナスの影響を及ぼすものであるため、お客さまの信頼回復に全力で取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

今回の業績予想の修正理由による、当社の健全性を示す連結ソルベンシー・マージン比率への影響は軽微であり、引き続き問題のない水準にあると認識しております。（2019年9月末時点の連結ソルベンシー・マージン比率：1,189.5%、ソルベンシー・マージン総額：5兆6,985億円。）

3. 配当予想

当社は、2019年5月15日に2020年3月期配当予想を公表しておりますが、第2四半期末（中間配当）につきましては、1株当たり配当金38円といたします。期末配当につきましては、当該公表数値（1株当たり配当金 期末：38円）から変更はございません。

（注）上記の各数値は、本資料発表時現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上